

教 科	外 国 語	科 目	英語探究
履修条件 対象生徒	選択必修 デザイン科 3 学年		
学習目標	実践的に英語を使うことにつながる、「読む」「聞く」「書く」「話す」ためのツールとなる英文法の理解を深め、定着を図る。		
学習方法	[授業] ・問題集を中心に学習し、表現するために必要な文法・語法を理解する。 ・学んだ文法を、ペアやグループ、一斉等、様々な形態を用いて実際に活用する。 [補習・その他] ・与えられた補助教材を活用して、その日に習った文法の定着を図る。 ・音読活動を通して英語の語順や語法の定着を図る。		
学習計画 と ねらい	< 1 学期末考査まで > 自己紹介、授業説明 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 ○授業の進め方、予習・復習のし方の説明 ○関係副詞の非制限用法 ○仮定法 ○help + 目的語+原形不定詞(to 不定詞) ○不定詞の意味上の主語 < 2 学期末考査まで > Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 ○関係代名詞の非制限用法 ○受動態の進行形 ○分詞の形容詞用法 ○to 不定詞の副詞用法 ○疑問詞+ to 不定詞 ○So で始まる文の倒置 ○同格の that < 学年末考査まで > Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 ○主語と be 動詞の省略 ○to 不定詞と原形不定詞の両方が使える動詞 ○SVC(C=whether 節)の文 ○部分否定		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	英語を使う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、正しい語順で話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況を踏まえ、情報を正確に聞き取り、日常的な話題や社会的な話題について、得た内容を的確に理解している。	音読活動や ALT との活動に自信をもって取り組んでいく。発言に必要な英語表現を自ら辞書を用いて調べ、使うことができる。
評価の方法	ループリック評価表を利用して、評価の観点、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」の3つの観点から、授業態度、テスト結果、提出物などの学習活動を総合的に判断して評価する。		